かんなび古墳新聞

発行日
6月8日
発行者
竹矢小学校
6年1組
梅木紘吉

はじめに 1

（読む順番）

ぼくは学校の授業で風土記の丘や古墳をめぐりました。それで、この町には重要な文化財がたくさんあるということを知りました。それで、ぼくは古墳に興味が出たので調べました。そして分かった事や感じた事をまとめていきたいと思います。

古墳ってなに？ 2

古墳とは、3世紀後半から7世紀までの間に作られた、土を高く盛り上げたお墓の事を古墳といいます。古墳はその地域を支配していた人が死んだ後も自分の力を示すために、つくられました。そして古墳にはいろんな形や大きさのものがありますが、古墳の大きさは権力、形は身分のち族の墓と考えられています。その中でも前方後円墳は王や豪

岡田山古墳 3

岡田山古墳は、八雲立つ風土記の丘センター地内にある古墳群で国の史跡に指定されています。1号墳は6世紀後半につくられた、全長20mの前方後方墳です。1号墳は石室内部の様子を見学することができます。2号墳は、直径44m、高さは6.5mの円墳で円墳の中では島根で二番目に大きいです。2号墳がつくられたのは1号墳よりも早い5世紀ごろです。

1号墳↑

2号墳↑

出土品 4

1号墳からは、内行花文鏡、大刀類、玉類、耳かざり、馬具、須恵器等が出土しました。その出土品の大刀類の中に、「額田部臣」という文字が記された大刀が出土しています。文字が記されている刀はとてもめずらしいそうで、重要文化財に指定されています。2号墳は、発掘調査が行われていないのですが、墳丘中腹に石の列があったり、埴輪とみられる小片が確認されたりしています。

山代二子塚古墳 5

山代二子塚古墳は6世紀中頃につくられた、前方後方墳で、全長は94m、周囲の堀や外堤も含めると150mになって、なんと島根県で二番目に大きい古墳です。さらにこの古墳は日本で一番最初に「前方後方墳」と名命された古墳です。さらにさらに、この古墳はかつての出雲国の王の墓と言われています。この古墳は残念ながら昔、旧陸軍の射撃場を造るために、古墳を削られましたが、今では復元され、今では土層見学に生まれ変わりました。

出土品 6

山代二子塚古墳は発掘調査がされています。須恵器、装飾付壺、円筒埴輪が見つかっています。これらは6世紀中頃から後半のものと考えられています。その他にも馬・家・人物がたくさん見つかっています。

土層見学施設 7

山代二子塚子墳の後方部には築造過程で人工的に積まれていった土層の断面が見学できるようになっています。古墳がどのようにつくられたかが分かる土層を見学できる施設は全国でここだけです。この古墳は二種類の土をこうごにかさねて、水はけを良くしてくずれないようにしているそうです。

編集後記 8

ぼくは、昔から、この町には守らなきゃいけない物があると、ぼんやりと思っていたけど、この新聞を書いて、より身近に、この町には守っていかなきゃいけない大切な文化財があるという事を感じました。なのでこれから、文化財に対してできる事があれば積極的にしていきたいと思いました。